



## メッセージ エージング ポリシーの変更

Cisco Unity Connection では、ボイス メッセージを格納するハードディスクがいっぱいにならないように、メッセージ エージング規則を設定して次の処理を自動的に実行できます。

- 既読メッセージを、指定した日数が経過した後に [削除済みアイテム (Deleted Items)] フォルダに移動する。この規則は、デフォルトでは無効になっています。
- [削除済みアイテム (Deleted Items)] フォルダにあるメッセージを、指定した日数が経過した後に完全に削除する。この規則は、デフォルトで有効になっています。

これらのメッセージ エージング規則は、個別に有効または無効にできます。また、各規則にそれぞれ別の日数を指定することができます。メッセージ エージング ポリシーを有効または無効にすることもできます。ポリシーを無効にすると、規則は規則自体の設定にかかわらず適用されなくなります。

メッセージ エージング ポリシーを有効にし、いずれかまたは両方のメッセージ エージング規則を有効にした場合も、[ボイスメールボックス (Voice Mailbox)] ページで個々のユーザのメッセージ エージングを無効にすることができます。ただし、この逆の設定はできません。メッセージ エージング ポリシーを無効にした場合は、個々のユーザのメッセージ エージング規則を有効にすることはできません。

メッセージは、最後に変更を加えられた時点からエージングが開始されます。メッセージに変更を加えるには、ユーザは次のいずれかの手順を実行する必要があります。

- Cisco Unity Inbox で、メッセージに新規または削除済みのマークを付けるか、メッセージの題名を変更して、[保存 (Save)] をクリックする。
- 電話でアクセスしているときに、メッセージに新規のマークを付ける、メッセージを再保存する、メッセージを削除する、削除済みメッセージを開封済みに戻す、のいずれかのオプションを選択する。

これらのいずれのオプションも選択せずに、単にメッセージを聞いた場合には、メッセージのステータスは変更されません。

### メッセージ エージング ポリシーを変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[メッセージ エージング ポリシー (Message Aging Policy)] をクリックします。
- ステップ 2** 設定を適切に変更します。個々のフィールドについては、フィールド ヘルプを参照してください。
- ステップ 3** [保存 (Save)] をクリックします。

Connection でメッセージエージングポリシーが有効である場合は、個々のユーザおよびテンプレートに対してメッセージエージングポリシーを有効または無効にすることができます（デフォルトでは、ユーザテンプレートで、ユーザのメッセージエージングが有効となるように指定されています）。

手順については、『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「ユーザアカウントの設定によって制御される機能の設定」の章の「メッセージのエージング」の項を参照してください。このドキュメントは、

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html) から入手可能です。